モリ工業株式会社

社/〒542-0076 大阪市中央区難波5-1-60 (なんばスカイオ22階) TEL. (06) 6635-0201 (代) FAX. (06) 6635-0221 東 京 支 店/〒104-0032 東京都中央区八丁堀2-21-6(八丁堀NFビル3階) TEL. (03) 3552-6008 (代) FAX. (03) 3552-6039 名 古 屋 支 店/〒456-0018 名古屋市熱田区新尾頭3-2-1(KVK金山ビル4階) TEL. (052) 678-2055 (代) FAX. (052) 678-2066 埼玉 営業 所/〒350-1328 埼玉県狭山市広瀬台2-1-14 TEL. (04) 2953-6141 (代) FAX. (04) 2953-6144 新 潟 営 業 所/〒955-0046 新潟県三条市興野3-5-38-301 TEL. (0256) 35-8811 (代) FAX. (0256) 35-8813 中四国営業所/〒732-0052 広島市東区光町1-12-20(もみじ広島光町ビル7階) TEL. (082) 263-3501 (代) FAX. (082) 263-3507 福 岡 営 業 所/〒811-2132 福岡県糟屋郡宇美町原田1-20-20 TEL. (092) 932-4043 (代) FAX. (092) 932-4516 **河内長野工場/**〒586-8555 河内長野市楠町東1615 TEL. (0721) 54-1121 (代) FAX. (0721) 54-1133 **美 原 工 場/**〒587-0042 大阪府堺市美原区木材通1-7-22 TEL. (072) 362-7330 (代) FAX. (072) 362-7410 **泉 大 津 工 場/〒595-0054** 大阪府泉大津市汐見町110 TEL. (0725) 20-5166 (代) FAX. (0725) 20-5177



社 是

進取 他人と同じことをしていたのでは発展しない。 常に自ら一歩進んで積極的にことに当れ。

独創 常に現状に疑問を持ち、工夫・改善・開発の虫になれ。

情熱を失うと人間は枯れてしまう。 常に不屈の闘志と夢を持て。

奉仕 奉仕なくして永遠の繁栄はあり得ない。自らの仕事を完全に やりこなすことが、社会への奉仕につながることを知れ。



河内長野工場本館



ごあいさつ

皆さまもよくご存知のように、ステンレスは、優れた耐食性と機能性により、私たちの生活において深いつながりを持つ金属として、建造物をはじめ化学設備、自動車、電気製品、家具、厨房設備などの各方面で活用されており、生活の向上に、産業の発展に、重要な役割を果たしております。

モリ工業は、昭和4年に堺市で、自転車用前ホーク(鋼管の加工品)メーカーとして 誕生した会社ですが、このステンレスの将来性に着目し、昭和34年に、ステンレス溶接 管の業界に進出しました。

クラッド管、薄肉管、装飾管、配管用管などつぎつぎとステンレスパイプを世に送り 出すとともに、そのパイプを素材とした物干し竿、フレキシブル管、熱交換器などの ユニークな二次加工品も幅広く手がけてまいりました。

また、昭和58年からは、パイプ以外の製品として、フラットバー、アングル、丸棒などステンレス条鋼製品の開発にも取り組み、そして今日では、月産4000トンを誇る日本でも屈指のステンレスメーカーに成長し、「ステンレスのモリ工業」と言われるまでに発展してまいりました。

このように、モリ工業は、ステンレスとともに、90年余を生き抜いてきた会社でございます。今後とも、新需要の開拓を通じて、いささかでもステンレス業界の発展に貢献できればと願っております。

進取的かつユニークな経営を推進し、皆さま方のご期待にお応えする所存でございま すので、何とぞ、一層のご支援、ご愛顧を賜りますようお願い申しあげます。

取締役社長 森 宏明

○会社概要

■商 号 モリ工業株式会社 (MORY INDUSTRIES INC.)

■創 業 昭和4年4月 (昭和24年1月 株式会社に変更)

■資本金 73億6045万円(平成31年3月31日現在)

■製造品目 ステンレス管 ステンレス条鋼 ステンレス加工品 チタン管

カント 鋼管(普通鋼) 機械(パイプ切断機など)

■社 員 数 651名(平成31年3月31日現在)

■株式上場 東京証券取引所第一部

■代 表 者 取締役社長 森 宏明

■所 在 地

本 社 大阪市中央区難波5-1-60 東京支店 東京都中央区八丁堀2-21-6 名古屋支店 名古屋市熱田区新尾頭3-2-1 営 業 所 埼玉·新潟·中四国·福岡 河内長野工場 河内長野市楠町東1615 美原工場 大阪府堺市美原区木材通1-7-22 泉大津工場 大阪府泉大津市汐見町110

■配送センター

大阪·東関東(茨城)·関東(埼玉)·名古屋· 岡山·福岡

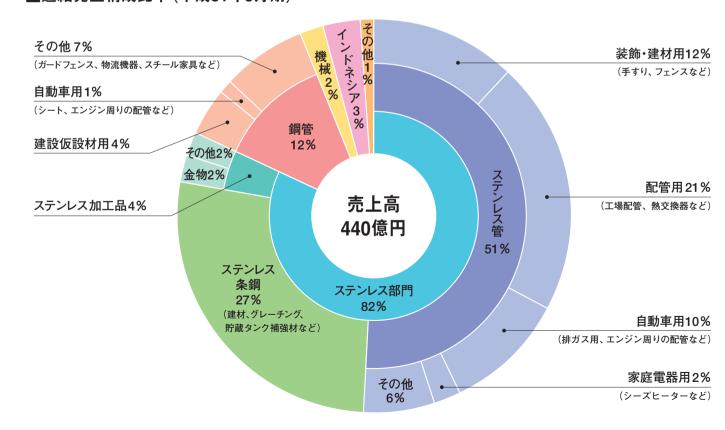
■主な関連会社

モリ金属株式会社 河内長野市 ステンレス管および金物の製造

関東モリ工業株式会社 埼玉県狭山市 埼玉工場 ステンレス管および金物の製造 茨城工場 ステンレス条鋼の製造

PT.MORY INDUSTRIES INDONESIA ステンレス管の製造・販売

■連結売上構成比率(平成31年3月期)



(輸出比率1%)

●当社のあゆみ

昭和 4 年 (1929)	4月	初代社長森明長が堺市で森製作所 (当社の前身)を設立し、 自転車用の前ホーク製造を開始	昭和 61 年(1986)	10月	美原工場が竣工
昭和24年			昭和62年(1987)	9月	福岡営業所を開設
(1949)		個人企業を株式会社に組織変更し、 森明長が社長に就任	平成 元 年(1989)	4月	河内長野本館が竣工
昭和 34 年(1959)	• 10月	新製品としてステンレス管の製造を開始し、 業種転換に着手	平成 2 年 (1990)	1月	新製品としてステンレス角管の製造を開始
昭和36年	9月	社名をモリ工業株式会社に改称 河内長野工場第1期工事が完了 ステンレス管の二次加工品の製造を開始	平成 3 年 (1991)	11月	埼玉モリ工業 (現・関東モリ工業)の 工場建で替え工事が完了
昭和 38 年 (1963)	5月 本社および堺工場を河内長野工場に 移転し、全事業場を河内長野市に集約 11月 新製品として自動パイプ切断機の製造		平成 6 年(1994)	9月	河内長野工場にステンレス管用立体倉庫が竣工
(1303)		新製品として自動パイプ切断機の製造を開始	平成 9 年(1997)	8月	福岡配送センターを開設し、九州・中国地区より ステンレス建材製品の在庫販売を開始
昭和 39 年 (1964)		東京営業所を開設 名古屋営業所を開設	平成 10 年 (1998)		大阪配送センターを開設 関東配送センターを開設
昭和 40 年 (1965)	1月12月	第2代社長に森明信が就任 新製品として鋼管(普通鋼)の製造を開始	平成 11年(1999)		東関東配送センターを開設 名古屋配送センターを開設
昭和 42 年 (1967)		昭和34年以前の旧製品の製造を中止し、	平成 12 年(2000)	6月	第3代社長に森宏明が就任
昭和45年	• 9月	業種転換を完了 ステンレス管用光輝焼鈍炉を設置	平成 13 年(2001)	7月	新製品として、熱間圧延ステンレス条鋼の製造を 水海道工場(現・茨城工場)にて開始
(1970)			平成 14年(2002)	3月	ISO 9001認証登録
昭和 47 年 (1972)	• 5月	大型スリッターを設置	平成 15 年(2003)	8月	安城配送センターを開設
昭和 48 年 (1973)	6月	大阪証券取引所第2部に株式上場	平成 16 年(2004)	10月	ISO 14001認証登録
昭和 49 年 (1974)	5月	大阪事務所を開設	平成 17 年(2005)	9月	岡山営業所および岡山配送センターを開設
昭和 52 年 (1977)	• 4月	ステンレス クラッド管の新鋭生産設備を開発	平成 18年(2006)	5月	大阪市中央区西心斎橋に本社を移転
昭和 54 年 (1979)	• 4月	財団法人 森教育振興会を設立	平成 22 年(2010)	10月	タイのオートメタル社に資本参加
昭和 55 年 (1980)	• 7月	東京証券取引所第2部に株式上場	平成 23 年(2011)	7月	レーザー溶接造管機を導入
昭和 57 年 (1982)	• 1月	広島営業所を開設	平成 24 年 ⁽²⁰¹²⁾	10月	インドネシアに製造子会社 PT.MORY INDUSTRIES INDONESIAを設立
昭和58年		ステンレス帯鋼用20段式冷間圧延設備を設置	平成 28 年 (2016)	4月	広島営業所と岡山営業所を統合し、 中四国営業所を開設
(1983)	6月 東京・大阪証券取引所第1部に株式上場		平成 29 年(2017)	4月	名古屋市熱田区新尾頭に名古屋支店を移転
昭和 59 年(1984)		太陽工業(ステンレス管・鋼管製造)に資本参加し、埼玉モリ工業 (現・関東モリ工業) に社名を変更在阪の子会社4社 (しろがね産業、竹田工業、モリ・ステンレス建材、森製作所) を合併させ、モリ金属を設立	平成 30 年 (2018)		大阪市中央区難波に本社を移転 泉大津工場を開設
			令和 元 年(2019)	8月	名古屋配送センターおよび 安城配送センターを移転・統合

3

●事業所·関連会社



河内長野工場



関東モリ工業(株) 茨城工場 (茨城県常総市)



本社(大阪市・なんばスカイオ)



PT.MORY INDUSTRIES INDONESIA (インドネシア 西ジャワ州)



美原工場 (大阪府堺市)



関東配送センター・関東モリ工業(株) (埼玉県狭山市)

○ 在庫販売事業

ステンレス建材製品の在庫販売

メーカーとしての豊富な経験と実績を活かして生産・物流・販売・サービスの整備、強化をはかり、幅広くステンレス問屋様とお取引させていただくシステムを構築いたしております。

国内6ヵ所に配送センターを設置し、自社製品はもちろん、他社からの仕入れ品も豊富に取り揃え、 **短納期体制**でお客様が求める最適な製品とサービスをお届けしております。

配送センター	大阪、東関東(茨城)、関東(埼玉)、名古屋、岡山、福岡			
扱い品種	ステンレス管 … 丸管、角管、大型厚肉角管、クラッド管、異形管など 条 鋼 … フラットバー、アングル、チャンネル、丸棒、H形鋼、T形鋼など			
表面仕上	研磨なし、ヘアーライン、#400、#600、#800			



東関東配送センター (茨城県つくばみらい市)



大阪配送センター(河内長野市)

●当社の特徴

自社製の生産設備



充実した機械・金型製作部門

当社では、造管機などの生産設備、それに金型やロール類は、ほとんど自社で設計・製作しております。そのため、機械工場には、最新鋭の工作機械や金型製作設備などを設置しており、業績躍進の大きな原動力になっております。

7

材料の自社加工



川上作戦の展開

溶接管メーカーの共通の悩みは、加工度が低いため、付加価値の少ないことです。この問題を解決するため、当社では、帯鋼の冷間圧延、熱処理、スリット(裁断)など材料加工作業を社内で実施し、効果をあげております。

3 ステンレス管の二次加工品



川下作戦による新需要の開拓

ステンレス管の二次加工は技術的に難しく(特にクラッド管)、一般の加工業者には敬遠されがちです。そこで当社では、積極的に二次加工技術を研究し、自動車部品、建材、金物、家具、水・ガスなどの分野での新需要の開拓と付加価値率の向上に努めております。

▲ 立体工場で用地を有効利用



工場建屋は大部分2~3階建て

当社(子会社を含む)の工場建屋は、大部分2階建てまたは3階建ての立体工場となっております。そして、上層階にもトラックが出入りできるよう、ランプウェーを取りつけてあります。

研究・開発

当社の明日を担う部門として、人材と研究費を惜しみなく注ぎ込んでおります。全社員の約10%がこの部門に所属しており、新製品や新技術の開発、新鋭設備の導入などの面で、多くの成果をあげております。成果事項としては、材料加工関係ではステンレス帯鋼冷延設備、普通帯鋼冷延設備などの導入、新製品関係では、ステンレス条鋼、同家庭用品、ステンレス角管などを開発しております。









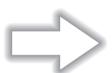
万能試験權

基本技術

- 圧延技術
- 2 ロール・フォーミング技術
- 3 溶接技術

(アルゴン・アーク溶接、高周波溶接、レーザー溶接など)

- 4 ステンレス研磨技術
- ⑤ パイプの塑性加工技術 (曲げ、バルジ、フレア加工など)



素材製品

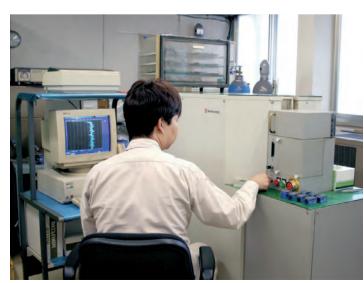
- ステンレス管
- 2 ステンレスクラッド管
- 3 ステンレス条鋼
- 4 チタン管
- 6 高ニッケル管
- 6 鋼管(普通鋼)

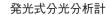
加工製品

- ステンレス物干し用品
- 2 ステンレスフレキシブル管
- 3 パイプ棚
- 4 熱交換器
- ⑤ 自動車部品 など



電子線マイクロアナライザ (EPMA)







家庭用品開発チーム

生産設備



20段式冷間圧延機



ステンレス帯鋼用光輝焼鈍炉



ステンレス条鋼用熱間圧延ライン(茨城工場)





アルゴン・アーク溶接造管機



ステンレス管高周波溶接造管機



レーザー溶接造管機



ステンレス管用自動研磨機



ステンレス管用光輝焼鈍炉



パイプ用真空熱処理炉

ステンレス 丸管(一般用、装飾・構造用、配管用)



手すり(京セラドーム大阪)

100台余の造管機を中心に、帯鋼 用冷間圧延機、大型スリッター、光輝 焼鈍炉、自動研磨機など最新鋭の量 産設備を備え、溶接管のトップメーカー としての品質と生産量を誇っております。 また、造管機はサイズごとに専用機化し、 短納期のご用命にも応じやすい生産体 制をとっております。

なお管の溶接方法にはアルゴン・アーク溶接、高周波溶接、レーザー溶接があり、鋼種や用途に応じた最適な溶接方法を用いることで、高品質のステンレス管を製作しております。



工業用ヒーター

一般用

- ●薄肉ステンレス管
- ●屋内配管用ステンレス管
- ●水道用ステンレス管



白動車エキゾーストパイプ

装飾·構造用

- ●ヘアーライン仕上
- ●#400仕上

13



歩道橋の手すり



配管用

熱交換器

- ●化学配管用ステンレス管
- ●ボイラー・熱交換器用ステンレス管

ステンレス 角管・異形管(装飾・構造用)



当社では、丸管だけでなく、角管、大型厚肉角管、異形管の製作も手がけております。特に、ユーザーの多彩な使用条件に対応できるよう、丸管同様、多彩な品揃えを行うとともに、ご要望があれば指定の長さに切断し、納入しております。



フェンス





橋の欄

チタン管

当社では新素材として、チタン管の 製作も手がけております。

チタンの耐食性はステンレス鋼に 比較しても多くの場合極めて優れており、特に海水中では白金に匹敵しております。比重はステンレス鋼の約6割で 比強度(引張強さ/比重)が大きく、軽量 化が可能となります。



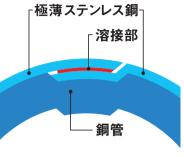
チタン製のマフラー管

ステンレス クラッド管

高価なステンレス鋼を節約する ため、普通鋼の鋼管の外周を、極薄の ステンレス帯鋼で覆った二重管です。 価格が、ステンレスソリッド管に比して、 20~50%も安いため、装飾用の分野 では、幅広く使用されております。当社 では、複合造管機という新鋭設備を 開発して大幅なコストダウンに成功し、 このクラッド管の分野でも、トップ メーカーに躍進しております。

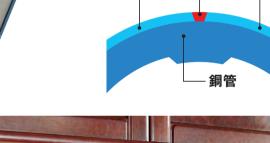
■ MSパイプ

(シーム溶接方式)



■TCパイプ (アルゴン・アーク溶接方式)

┌極薄ステンレス鋼-┌溶接部





家庭用ものほし製品



ハンガーパイプ



電車の支柱・つり手棒

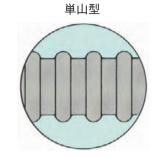
ステンレス フレキシブル管

厚さ0.2~0.4mmの薄肉ステンレス 管を蛇腹状に加工し、手で自由に 曲げられるようにしたパイプです。

水などの一般配管用として広く 普及しております。また、熱交換器用 としても使用されています。



スパイラル型









熱交換器用

ステンレス 条鋼(冷間成形品)

パイプ以外の分野においても高度 な技術と新鋭設備を備え、装飾・構造 用のフラットバー、アングル、ロッド、 ワイヤー、ロール成形品などの冷間成 形条鋼製品の販売も行っております。

仕上仕様は未研磨品から#400研 磨品まで幅広く用意しており、建築、 厨房器具、医療器具などの用途に使 用されています。



ステンレス 条鋼(熱間圧延品)

ステンレス条鋼用熱間圧延ラインを 茨城工場に設置し、熱間圧延アングル や熱間圧延フラットバーの生産を行っ ております。

最新鋭の設備から生まれる高品質 のステンレス条鋼製品は、お客さまから 高く評価され、建築や各種産業プラント など幅広い分野でご使用いただいてお ります。

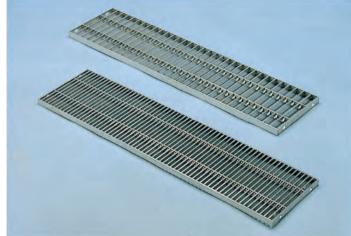


熱間圧延フラットバー

用水路のスクリーンパネル



業務用厨房器



フラットバー

グレーチング



貯蔵タンクの補強材





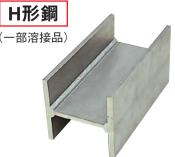




ステンレス製柱・梁







17

ステンレス 家庭用品

丈夫で錆びにくく、耐久性にすぐれた ステンレスは、家庭用品に使用される材 料として欠かせない素材です。

当社では川下作戦の一環として、ステ ンレスを主材料とする新製品開発に積 極的に取り組んでおります。中でも物干 し用品については、「きらきらポール」の 愛称で好評を博しております。



きらきらポール(ものほし竿、ものほし台)



ふとん干し



キッチン用品



室内ものほし



多機能ものほし



ベランダものほし

ステンレス 加工品 (受注生産)

自社製のソリッド管やクラッド管など を材料として、曲げ、コイル巻き、バルジ、 絞り、ビーディング、溶接、研磨などの加 工を施し、製品に仕上げます。

当社の場合は、素管からの一貫方式 で加工するのでコスト的にも有利であり、 技術的にも「難しい加工はモリにまかせ ておけば大丈夫」と高く評価されています。

◎製品例



浄水器の吐出管

◎加工例



曲げ加工



コイル巻き加工





ビーディング加工



フレア加工





溶接加工



バフ研磨仕上



熱処理



熱交換器

冷却コイル



冷却コイル

製品紹介

鋼管(普通鋼)

当社はもともと、自転車用前ホークのメーカーとして発足したため、鋼管につきましては、ユーザーとしての立場で得た豊富な経験を有しております。

これらの経験をもとに、自動車用など の高級管に重点をおいた生産を行うと ともに、スリッターなどの材料加工設備 やパイプ切断機を保有し、ニーズに対 応、コストダウンと品質の向上に務めて おります。



建築用足場





物流パレット



自動車用シート

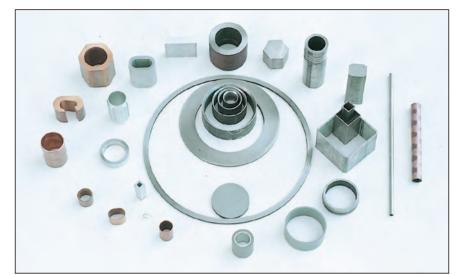


ミーティングチェア

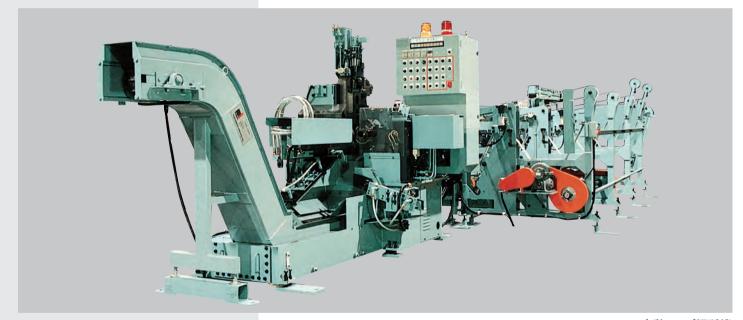
機械

これらの機械製品はいずれも、当社の生産合理化用に開発した機械を製品化したものです。以前は自動パイプ切断機のみでしたが、現在では、丸ノコ盤や面取機なども戦列に加えております。自動パイプ切断機は、昭和38年に発売を開始して以来、販売台数累計は10,000台を超え、全国各地のパイプ加工工場で活躍しております。

さらに新製品として長尺物格納用口 ングラックも開発し販売しております。



切断例



NC自動パイプ切断機





ロングラック

21